

一般集団における栄養素・食品摂取と 要介護状態の要因の関連

以前に J-MICC Study 京都フィールドにご協力いただいた方々の調査票や測定値などの情報を使って下記の研究をあらたに実施しています。この研究は愛知医科大学公衆衛生学講座と共同で実施されるものであり、実施にあたり愛知医科大学医学部倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

要介護状態の要因には身体的因子(筋力や歩行速度の低下等)、心理的因子(うつ状態等)、疾患関連(脳卒中、認知障害等)などが報告されています。食事はこれらの予防や機能改善・維持などに一部関連する可能性が示されています。有効な栄養素や食品などの摂取状況を示すことができれば、将来、食事からの介護予防についての重要な情報として役立つ可能性があります。本研究では一般集団における栄養素・食品摂取と要介護状態の要因との関連を検討することを目的としています。

研究の方法

・対象となる方について

2008～2013 年に J-MICC study 京都フィールドに参加協力くださった方。

・研究期間： 研究実施承認後から 2027 年 3 月 31 日

・方法

J-MICC Study 京都フィールドにご協力いただいた方々のベースライン調査、および約5年後追跡調査データの調査票、測定値や血液の情報のうち、要介護状態の要因に挙げられている身体的因子(筋力や歩行速度の低下等)、心理的因子(うつ状態等)、疾患関連(脳卒中、認知障害等)、および食事に関連する情報などを用いて行います。栄養素や食品の摂取量や状況と要介護状態の要因との関連を検討します。

・研究に用いる試料・情報について

試料:なし

情報:性別、年齢、喫煙、飲酒、教育レベル、睡眠時間、既往歴、服薬状況、血液データ、身体活動量、食事調査による栄養素や食品の摂取量や状況、測定値(身長、体重、握力・下肢筋力、歩行速度、骨密度、大腿・下腿周径、腹囲、骨格筋・内臓脂肪量)やロコモ度テスト(立ち上がりテスト、2ステップテスト、ロコモ25)、うつ状態や認知機能(質問票)等

・外部への試料・情報の提供

この研究は愛知医科大学公衆衛生学講座へデータを送付し解析を行い、解析結果データについては常葉大学健康科学部静岡理学療法学科の研究者と共有する予定です。提供の際、氏名、生年月日などのご協力いただいた方々を直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。提供先:愛知医科大学公衆衛生学講座、常葉大学健康科学部静岡理学療法学科

・個人情報の取り扱いについて

J-MICC Study 京都フィールドにご協力いただいた方々の調査票や血液の情報をこの研究に使用の際は、氏名、生年月日などのご協力いただいた方々を直ちに特定できる情報は削除し、またこの研究の成果を発表する場合にも、ご協力いただいた方々が特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究代表者(愛知医科大学公衆衛生学講座 講師 篠壁多恵)、共同研究機関 研究責任者(常葉大学健康科学部静岡理学療法学科 准教授 加藤倫卓)の責任の下、厳重な管理を行い、ご協力いただいた方々の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究組織

京都府立医科大学 研究責任者 京都府立医科大学地域保健医療疫学 講師(学内) 尾崎悦子
愛知医科大学 研究責任者 愛知医科大学公衆衛生学講座 講師 篠壁多恵
常葉大学 研究責任者 健康科学部静岡理学療法学科 准教授 加藤倫卓

お問い合わせ先

ご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて参加して下さった方もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2023年6月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも皆さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学地域保健医療疫学
講師(学内) 尾崎悦子 電話:075-251-5770